



# 薩摩川内市 まちづくりデザイン会議 提言書

## Vision of the Future City

薩摩川内市まちづくりデザイン会議

# Contents

1. まちづくりデザイン会議の概要
2. 10年後のビジョン

## 12のテーマの提言

- 1-1.地域経営・コミュニティ活動
- 1-2.男女共同・ダイバーシティ
- 1-3.SDGs・カーボンニュートラル（脱炭素）の推進
- 2-1.安全安心
- 2-2.市街地の魅力
- 2-3.移住・定住
- 3-1.若者の活躍
- 3-2.子育て
- 3-3.健康・福祉
- 4-1.農漁業
- 4-2.商工業
- 4-3.観光シティセールス

## 資料編

- 資料1.委員名簿
- 資料2.会議の開催概要



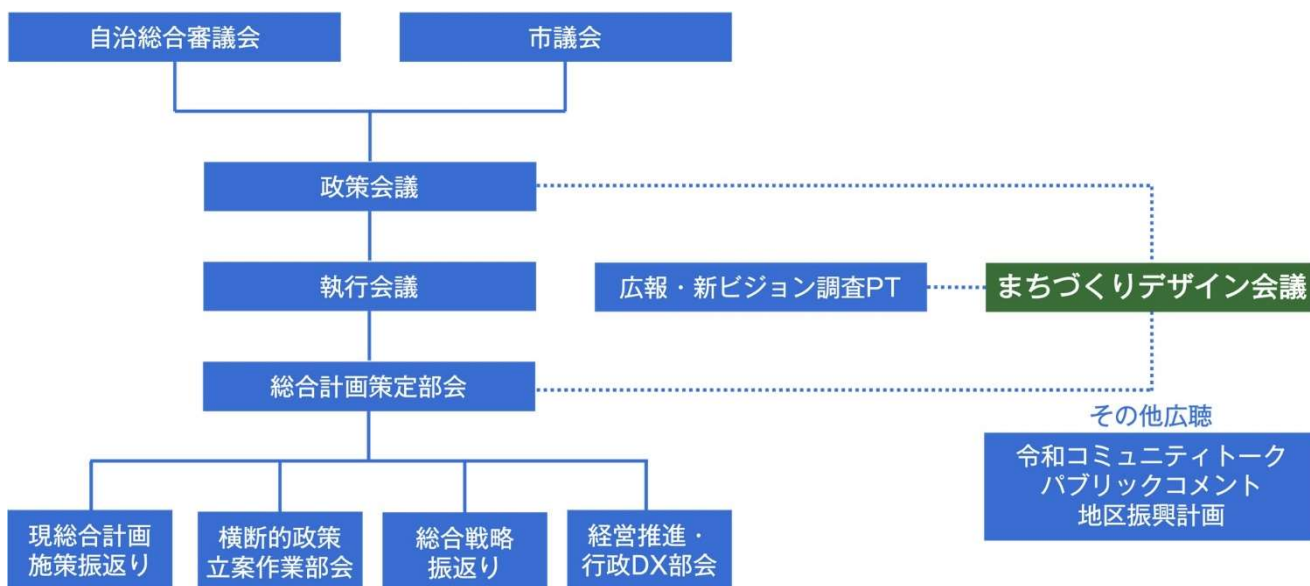
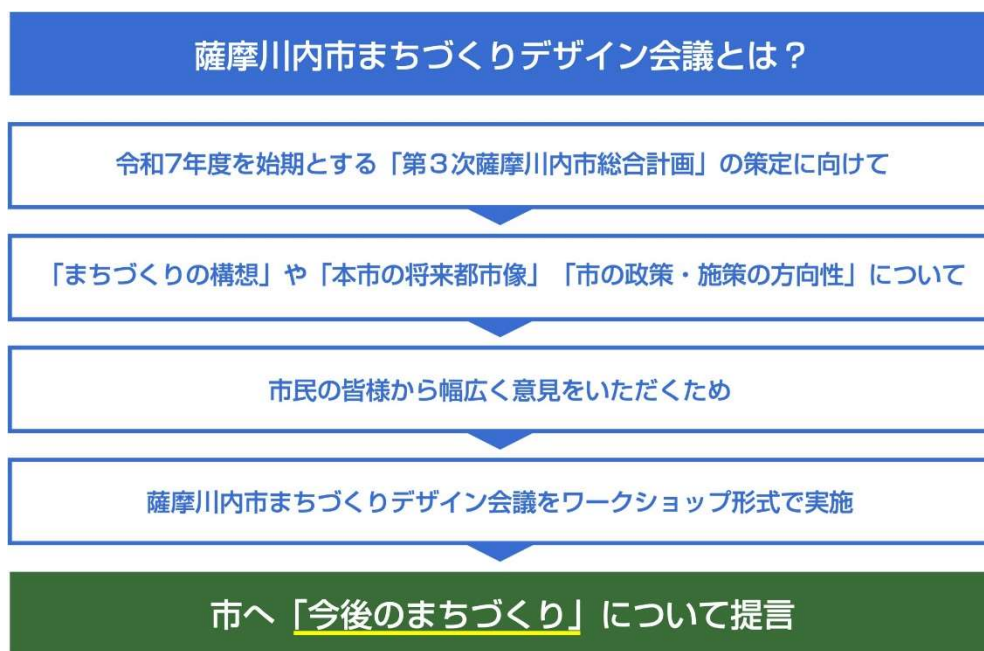
# まちづくり デザイン会議

## 概要とビジョン

# 1. まちづくりデザイン会議の概要

まちづくりデザイン会議は、市民が長期的視点に立ち、市のあるべき姿を展望しながら、まちづくりについて提言するために設置された会議で、高校生を含めたあらゆる世代の62名が委嘱されました。

わたしたちは、市の将来のまちづくりについて、合計6回のワークショップで検討を重ねてきました。このたび、検討した結果を市に提言します。





## ■分科会について

まちづくりデザイン会議は、4つの分科会と12のグループに分かれて、令和4年7月30日から同年12月3日まで6回開催されました。

分科会名	テーマ
まちづくり	地域経営・コミュニティ活動
	男女共同・ダイバーシティ
	SDGs・カーボンニュートラル（脱炭素）の推進
暮らし・安全	安全安心
	市街地の魅力
	移住・定住
福祉・教育	若者の活躍
	子育て
	健康・福祉
産業振興	農漁業
	商工業
	観光シティセールス

## ■各回のテーマ

回	月日	テーマ
第1回	7月30日	薩摩川内市の好きなところを語る
第2回	8月27日	薩摩川内市の課題を知る
第3回	9月17日	薩摩川内市の10年後のビジョンを考える
第4回	10月16日	ビジョンを実現するためのアイデアを出す
第5回	11月12日	ビジョンとアイデアを絞り込んで深める
第6回	12月3日	提言を作成する

## 2. 10年後のビジョン

### 1-1.地域経営・コミュニティ活動

人口減少に見合った地域経営・コミュニティ組織をつくり、全市民で、助け合いの精神で地域活動に取り組んでいる

### 1-2.男女共同・ダイバーシティ

年齢、性別、国籍などにとらわれず、多様な価値観を認め合い、新たな挑戦と情報発信に取り組んでいる

### 1-3.SDGs・カーボンニュートラル(脱炭素)の推進

職場でもない家庭でもない場所（サードプレイス）でSDGsに基づいた住み続けられる魅力的なまちづくりをおこなっている

### 2-1.安全安心

いつでも周囲の人々(特に若者)の助けが得られるような地域のハート♥がある

### 2-2.市街地の魅力

市民が市を好きになるようにおしゃれで若者が気軽に集まり全ての人達が交流できる

### 2-3.移住・定住

薩摩川内市の自然、生活、仕事などの魅力にひかれて移住する人が増加している

12のグループで薩摩川内市の未来のあるべき姿（10年後のビジョン）をまとめました。

### 3-1.若者の活躍

若者が自分の  
やりたい仕事を見つけ  
て薩摩川内市で暮ら  
すことを積極的に  
選んでいる

### 3-2.子育て

子育てを尊重する  
社会として、子育ての  
支援が充実していて、  
子育てに夢がもてる

### 4-1.農漁業

農業や漁業に興味を  
持つ若者が増え  
活気にあふれている

### 3-3.健康・福祉

高齢者・障がい者も  
いきいきと働き続けな  
がら、地域で支え合っ  
ている

### 4-2.商工業

まち全体を巻き  
込んだ働く機会の  
創出と人材の育成に  
取り組んでいる

### 4-3.観光シティ セールス

市民がまちに誇りを  
持ち、薩摩川内市の  
観光資源を発掘・  
再評価している

# まちづくり デザイン会議

---

12のテーマの提言



## 12グループのテーマ

### まちづくり

1-1.地域経営・コミュニティ活動

1-2.男女共同・ダイバーシティ

1-3.SDGs・カーボンニュートラル（脱炭素）の推進

### 暮らし・安全

2-1.安全安心

2-2.市街地の魅力

2-3.移住・定住

### 福祉・教育

3-1.若者の活躍

3-2.子育て

3-3.健康・福祉

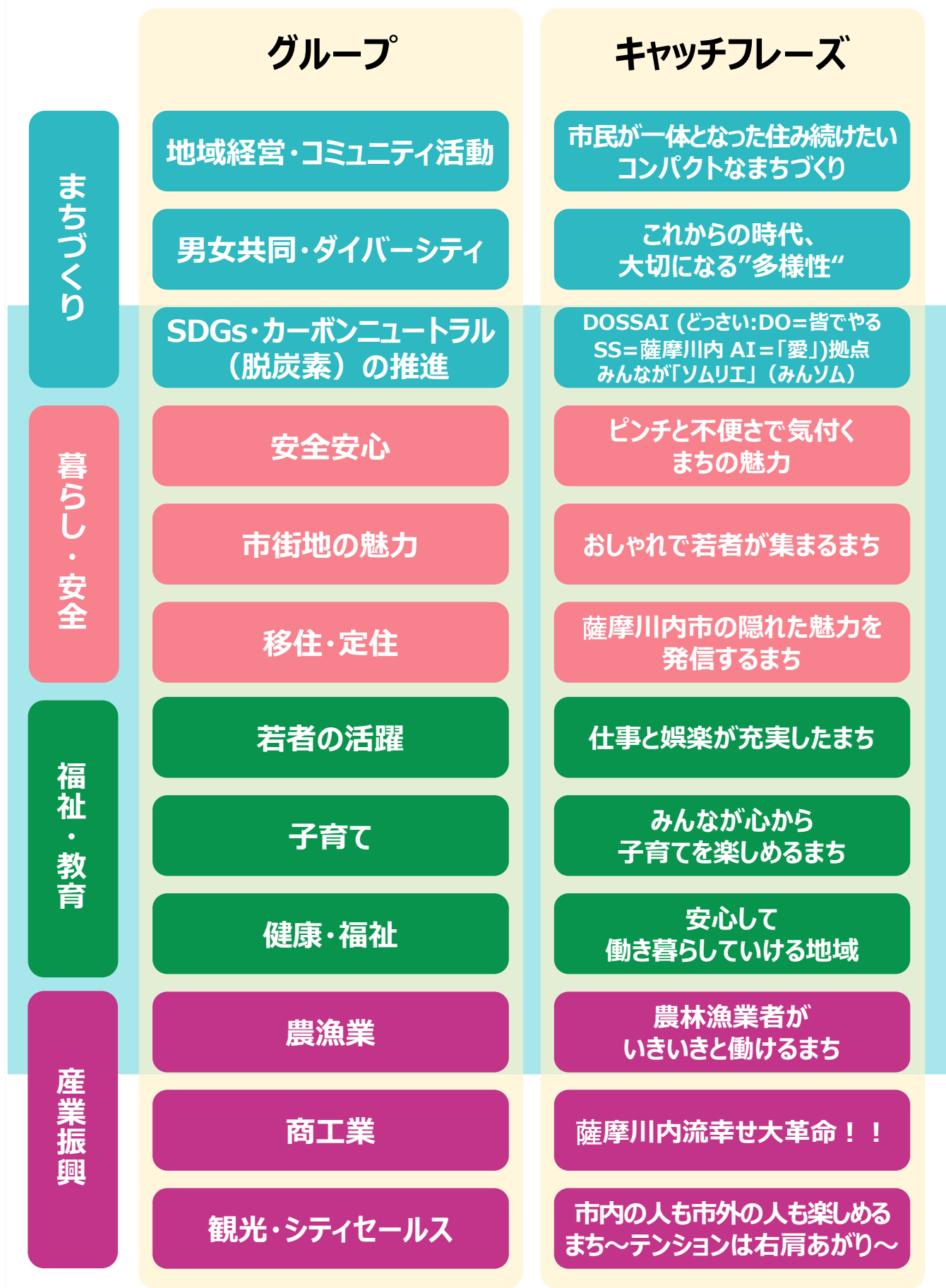
### 産業振興

4-1.農漁業

4-2.商工業

4-3.観光シティセールス

## 12グループ提言の体系図



## 10年後のビジョン

人口減少に見合った地域経営・コミュニティ組織をつくり、全市民で、助け合いの精神で地域活動に取り組んでいる

年齢、性別、国籍などにとらわれず、多様な価値観を認め合い、新たな挑戦と情報発信に取り組んでいる

職場でもない家庭でもない場所（サードプレイス）でSDGsに基づいた住み続けられる魅力的なまちづくりを行っている

いつでも周囲の人々（特に若者）の助けが得られるような地域のハート♡がある

市民が市を好きになるようにおしゃれで若者が気軽に集まり全ての人達が交流できる

薩摩川内市の自然、生活、仕事などの魅力にひかれて、移住する人が増加している

若者が自分のやりたい仕事を見つけて薩摩川内市で暮らすことを積極的に選んでいる

子育てを尊重する社会として子育ての支援が充実していて、子育てに夢がもてる

高齢者、障がい者がいきいきと働き続けながら、地域で支え合っている

農業や漁業に興味を持つ若者が増え、活気にあふれている

まち全体を巻き込んだ働く機会の創出と人材の育成

市民がまちに誇りを持ち、薩摩川内市の観光資源を発掘・再評価している

## ビジョンを実現するための主なアイデア

- ・自治会のコミュニティ範囲を超えた連携
- ・自治会、住民、企業、ボランティア等の多様な主体が連携
- ・新住民など多様な住民の地域活動への参加を促進する地域行事の実施

- ・思い込みや先入観にもとづく差別をなくすための意識改革・交流機会づくり
- ・新たな挑戦をしやすい環境・気運づくり
- ・文化や生活の規準の違いを知るための情報発信

- ・SDGsに基づいた市民対象の学びや体験プログラムの実施
- ・多様な世代が集える、交流できるフラットな場所づくり

- ・近所の人との交流機会を増やす
- ・ITをうまく使って交流機会を増やす
- ・民間で地域のハートを創る

- ・空き家を活用したカフェ等の交流の場づくり
- ・若者が勉強、起業、情報発信する場づくり
- ・市内各地にコワーキングの場づくり

- ・薩摩川内市の自然、健康、スポーツなどのまちの魅力を発信
- ・若者が暮らしやすい仕事、子育て、生活面を発信
- ・移住希望者へ総合的な支援を提供

- ・高校生に対する地元企業の情報提供と職場体験
- ・地域資源を活用した若者の起業支援

- ・子育て情報の発信
- ・多様な世代の人が集まる交流の場
- ・子育てに悩む人にセミナー・学習・支援等を提供

- ・障がい者の働く場づくり
- ・高齢者の働く場づくり
- ・高齢者、障がい者も地域の中で支え合う仕組みづくり

- ・新しく始めたい人を育成
- ・まちなかに直売所を設置
- ・農漁業を知ってもらうように発信

- ・企業間・業種間で人材を交流して人材を活性化
- ・副業や兼業など多様な働き方の支援
- ・自営業やフリーランスの育成

- ・市民が市のことを知る体験やイベントの開催
- ・地元の魅力を知っている人が情報を拡散する仕組みづくり
- ・市民がまちのことを知るサイトときっかけづくり

# 各グループ提言の見方

## キャッチフレーズ

それぞれの提言を一言で表しています。

## 現状の課題

将来を考える際に解決したい問題を例示しています。

## 10年後のビジョン

私たちが将来ありたい姿を表しています。

まちづくり分科会

1. まちづくり分科会

1-1. 地域経営・コミュニティづくり

キャッチフレーズ

**市民が一体となった  
住みたいコミュニティづくり**

現状の課題

- 地区コミュニティ活動が、小学校
- 住民の数の地域間格差に対して
- コミュニティ協議会の運営が一部
- 行政と自治会との連携や、地区コミュニティの助け合いが必要だ

10年後のビジョン

**人口減少に見合った地域経営・コミュニティ組織をつくり、  
全市民で、助け合いの精神で地域活動に取り組んでいる**

ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
自治会の合併	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コミュニティの範囲をはずして自治会を合併する</li> <li>✓ 自治会の再編に行政が参加する</li> </ul>
参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 行政と住民・企業と一緒に自治会活動を運営する</li> <li>✓ 企業の地域活動参加を促進する</li> <li>✓ 新住民の地域活動参加を促進する</li> <li>✓ 若者の地域活動参加を促進する</li> </ul>

## ビジョンを実現するためのアイデア

「10年後のビジョン」を実現するため、考えられる方策を挙げています。

- ✓ マップ作成や声掛け、助け合いの輪を作り上げる
- ✓ 顔の見える運動会など家族で参加できる地域行事を増やす
- ✓ 高齢者と子どもの関わりを作る
- ✓ バス停などを高校生が廃材で作る
- ✓ 若者の愛着心を向上させる

- 自治会のコミュニティ範囲を超えた連携
- 自治会、住民、企業、ボランティア等の多様な主体が連携
- 新住民など多様な住民の地域活動への参加を促進する地域行事の実施





## 1. まちづくり分科会

## 1 - 1. 地域経営・コミュニティ活動グループ

キャッチフレーズ

## 市民が一体となった 住み続けたいコンパクトなまちづくり

現状の課題

- 地区コミュニティ活動が、小学校校区の統廃合により、活動できなくなった
- 住民の数の地域間格差に対して、コミュニティ活動の事務作業が一律で負担が大きい
- コミュニティ協議会の運営が一部の人で行われて情報が伝わらない
- 行政や自治会との連携や、地区コミュニティ協議会同士の助け合いが必要だ

## 10年後のビジョン

人口減少に見合った地域経営・コミュニティ組織をつくり、  
全市民で、助け合いの精神で地域活動に取り組んでいる

## ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
自治会の合併	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コミュニティの範囲をはずして自治会を合併する</li> <li>✓ 自治会の再編に行政が参加する</li> </ul>
参加者の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 行政と住民・企業が一緒になって自治会活動を運営する</li> <li>✓ 企業の地域活動参加を促進する</li> <li>✓ 新住民の地域活動参加を促進する</li> <li>✓ 若者の地域活動参加を促進する</li> </ul>
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ マップ作成や声掛け、助け合いの輪を作り上げる</li> <li>✓ 顔の見える運動会など家族で参加できる地域行事を増やす</li> <li>✓ 高齢者と子どもの関わりを作る</li> <li>✓ バス停などを高校生が廃材で作る</li> <li>✓ 若者の愛着心を向上させる</li> <li>✓ 子どもたちが地域の歴史を知る</li> </ul>

- 自治会のコミュニティ範囲を超えた連携
- 自治会、住民、企業、ボランティア等の多様な主体が連携
- 新住民など多様な住民の地域活動への参加を促進する地域行事の実施

## アイデアの実現に向けたアクションプラン

## 地区コミュニティ団体とテーマ型活動団体の交流フォーラムの開催

いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ これからすぐに検討を始める</li> <li>✓ 情報発信・フォーラムは数か月間の実施とする</li> </ul>
どこで	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 公共施設を利用して、各施設の持ち回りで</li> </ul>
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地区コミュニティ会長</li> <li>✓ 地域の様々な団体・代表</li> <li>✓ 中立的なファシリテーター</li> <li>✓ 行政代表</li> </ul>
何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ それぞれの活動の悩みを共有する</li> <li>✓ 共同で実施したいテーマについて検討する</li> <li>✓ 従来活動を時代にあったものへ改善する</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 住みよい町を作る</li> <li>✓ 地域に誇りを持てるようにする、歴史を知る</li> <li>✓ まちを好きになる取り組みを作る</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地区コミュニティフォーラムを開催して情報共有・情報交換を行い、数か月かけてこの取り組みが必要という情報発信を行う</li> </ul>

## 10年後のシナリオ

**地域・コミュニティが再編成され、  
たくさんの新住民が移住して盛り上がっている**

キャッチフレーズ

## これからの時代、大切になる“多様性”

### 10年後のビジョン

年齢、性別、国籍などにとらわれず、  
多様な価値観を認め合い、新たな挑戦と情報発信に取り組んでいる

### ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 思い込みや先入観からの差別をなくす</li> <li>✓ 高齢者が働けるような環境づくりを整備していく</li> <li>✓ 新しいことに挑戦しやすい環境を作る</li> <li>✓ お互いの文化や言語を知り、違う国の人だからと意識せずに1人の人として関わる</li> </ul>
ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ユニバーサルデザインを取り入れた施設や商品の開発、整備を進める</li> <li>✓ 言葉の壁をなくしていく</li> </ul>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自分のことを知ってもらうために情報発信を行う（ネット/リアル）</li> <li>✓ 地方や地域、国ごとに文化や生活基準なども違うので知ることが大事だ</li> </ul>
交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 価値観の違いを知るために、交流会やイベントを小中高などの学校で授業に取り入れる</li> <li>✓ 人種やその人の価値観を知るきっかけをつくる</li> <li>✓ 障がいのある方々との触れ合う機会をつくる（スポーツ交流会など）</li> </ul>

- 思い込みや先入観にもとづく差別をなくすための意識改革・交流機会づくり
- 新たな挑戦をしやすい環境・気運づくり
- 文化や生活の規準の違いを知るための情報発信

## アイデアの実現に向けたアクションプラン

## 外国人を含む多様な層を対象とした継続的な交流イベント

いつ	✓ 年2回
どこで	✓ 屋外などオープンな空間
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 外国人</li> <li>✓ 地域おこし協力隊（後々は地域の方が自走できるように促す）</li> <li>✓ 学校各校区の自治協議会</li> </ul>
何を	✓ 継続的な交流イベント
なぜ	✓ 外国人の方と交流する機会がなかなか無い
どのように	✓ 毎回内容を変えながら開催（例：スポーツ、伝統芸能、各国や鹿児島料理など）

## 10年後のシナリオ

**外国人の方を含め、市に住む全ての人々が互いを認め合い、ともにより良い地域をつくっていく**

キャッチフレーズ **DOSSAI拠点 みんなが「ソムリエ」（みんソム）**  
**（どっさい:DO=皆でやる SS=薩摩川内 AI=「愛」）**

## 現状の課題

- 川内川を活用した取り組みや事業がほしい
- 森林資源を活用する
- コンビニ、スーパー食品のロスをなくす
- 公園や道路などの公共施設にポイ捨てが多い

## 10年後のビジョン

**職場でもない家庭でもない場所（サードプレイス）で  
SDGsに基づいた住み続けられる魅力的なまちづくりを行っている**

## ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
環境活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 海のゴミを回収するボランティア事業</li> <li>✓ 川内川を利用した廃校水族館</li> <li>✓ 廃校の利活用（まちの拠点）</li> </ul>
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 放置自転車を観光用にアップサイクル</li> <li>✓ ごみソムリエの育成（分別から再利用まで）</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 教育の場でSDGsを体験する</li> <li>✓ 学びの実戦の場</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 防災キャンプ</li> </ul>

- SDGsに基づいた市民対象の学びや体験プログラムの実施
- 多様な世代が集える、交流できるフラットな場所づくり



## アイデアの実現に向けたアクションプラン

## SDGsの観点に基づいて 多種多様なプログラムを展開する拠点・機運づくり

いつ	✓ 10年後
どこで	✓ SSプラザ
誰が	✓ 高校生と大人
何を	✓ SDGsに基づいた住み続けられるまちづくり
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 経験値を共有し</li> <li>✓ 地域愛を高める</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ クラスを編成し</li> <li>✓ ボランティアで運営する</li> </ul>

## 10年後のシナリオ

**SDGsの観点に基づいて多種多様なプログラムを展開する拠点「DOSSAI」を運営している**

キャッチフレーズ

## ピンチと不便さで気付くまちの魅力

現状の課題

- 災害時に誰を頼ればよいか明確ではない
- 災害時にどこへ避難すれば良いか知らない
- 消防団の高齢化により迅速な対応が難しくなる
- 災害時に1人暮らしの高齢者を誰が助けるのか
- 高齢化により地域住民の見守り機能が低下した

### 10年後のビジョン

いつでも周囲の人々(特に若者)の助けが得られるような  
地域のハート♥がある

### ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
生活インフラ (ハード全般)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 分散型にインフラを整備する</li> <li>✓ 過疎地域のエネルギースタンドをつくる</li> <li>✓ 洋式トイレを増やす</li> <li>✓ 道路・歩道や交通手段を確保する</li> </ul>
備え (防災のソフト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 電気やガスがなくても生活できるように食糧知識を身に付けておく</li> <li>✓ 災害時に備えて自分たちで作った食料を蓄えておく</li> </ul>
人間関係& 要配慮者の安全 (地域のハート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 普段から近所の人と交流できる機会を作る</li> <li>✓ 周囲の人と交流するために集団登校を取り入れる</li> <li>✓ 公園に地域見守り隊がいるようにする</li> <li>✓ ITを上手く使いながら対面で交流できる機会を作る</li> <li>✓ 中高生のボランティアグループを増やす</li> <li>✓ 参加したくなるコミュニティ活動を目指す</li> </ul>

- 近所の人との交流機会を増やす
- ITをうまく使って交流機会を増やす
- 民間で地域のハートを創る

アイデアの実現に向けたアクションプラン

地域のハートがあふれだすプロジェクト  
(お互いに助け合える機運づくり)

いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2023年2月</li> <li>✓ 座長会議</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 23年10月12日</li> <li>✓ 地域のハート(連絡協議会的な会)発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 24年10月12日</li> <li>✓ 合併20周年にプロジェクト始動</li> </ul>
どこで		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 民間団体事務所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ SSプラザ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 川内駅内</li> </ul>
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ デザイン会議</li> <li>✓ 4座長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各座長&amp;会議メンバー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各座長&amp;会議メンバー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 案) 物産協会</li> </ul>
何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ プロジェクトの説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 団体に依頼する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 発足式をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事務所機能：各団体からの問い合わせ窓口&amp;コーディネート</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ どの分科会も安全安心がベース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各団体・学生との横串が重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各団体・学生との協働を促すため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各団体の取りまとめ役が必要</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ どの民間団体に参加してもらうか話し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 書面を持参し座長やメンバーが直接プレゼン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ プロジェクト周知；綱練り時など人が多く集まる場</li> <li>✓ 取りまとめはIT(デジタル)活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各民間団体は資金を出し合う</li> <li>✓ 地元の学生やみんなに運営のバイトをもらう</li> </ul>

10年後のシナリオ

住民同士の日常の交流で育まれた一体感が、災害時など、誰かがピンチの際に発揮されている

キャッチフレーズ

## おしゃれで若者が集まるまち

現状の課題

- 中学・高校生が集まって勉強する場所が少ない
- 図書館が少し利用しにくい
- シャッターが閉まっている商店街
- 商店街が疲弊している
- 市内と市外の方との出会いが少ない

### 10年後のビジョン

市民が市を好きになるように  
おしゃれで若者が気軽に集まり全ての人達が交流できる

### ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
にぎわいの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ おしゃれな店や飲食店を誘致する</li> <li>✓ ライブハウスを誘致する</li> <li>✓ 公園でイベントを開く</li> <li>✓ 空き家を利用した古民家カフェ</li> <li>✓ いろんな人たちが交流できる場</li> <li>✓ コワーキングと勉強できる場</li> </ul>
公園/景観の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 街灯などを統一感のあるものに整備する</li> <li>✓ 遊歩道を整備する</li> <li>✓ 空地・駐車場を集約して老若男女がゆっくり過ごせる大きな公園を整備する</li> <li>✓ 大きな公園にはオープン図書館やカフェを整備する</li> <li>✓ 小さな拠点を活かす</li> <li>✓ 弱点を強みにする合併町村の特徴を活かした整備</li> </ul>

- 空き家を活用したカフェ等の交流の場づくり
- 若者が勉強、起業、情報発信する場づくり
- 市内各地にコワーキングの場づくり

## アイデアの実現に向けたアクションプラン

## 若者がつくるマチカド・マチナカ チャレンジ&トライ（人が集まり交流する場づくり）

いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 土曜及び日曜（月 1 もしくは 2 回）</li> <li>✓ やりたい人がいて、やれる場所が決まれば、いつからでも</li> </ul>
どこで	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市街地の空家や空店舗</li> <li>✓ アーケードの軒下</li> </ul>
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 大学生と高校生と一緒に活動（企画や発信）</li> <li>✓ まちの大人たち（商店街の人々や不動産会社など）が下支え</li> <li>✓ 薩摩川内のまちが好きで新しいことを始めている人たちと繋がる</li> <li>✓ まちの人みんなが利用</li> </ul>
何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人が集まる場を提供</li> <li>✓ 大人の下支え⇒学生等若者の活躍</li> <li>✓ 定期的なイベントにチャレンジ</li> <li>✓ 交流の場を生み出す</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 賑やかな空間ができればそこから派生的な広がりも生まれる（裏原宿的な個性的でおしゃれな空間）</li> <li>✓ 定期的にイベントが開催されるようになるとそれが周知されることによって、人の流れができる</li> <li>✓ 街にいる時間が長くなる</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 若者が活動しやすい環境を整える</li> <li>✓ イベントやまちの情報をSNSで発信（発信した側にもポイントや特典）</li> <li>✓ 休業日の店や空き店舗の軒下を借りて、イベントを行う</li> </ul>

## 10年後のシナリオ

**まちづくりの拠点が市街地以外にも広がり、  
多くの人がまちづくりに関わるようになっている**



キャッチフレーズ

## 薩摩川内市の隠れた魅力を発信するまち

現状の課題

- ふるさを捨てて薩摩川内市から出ていく人が多い
- 空き家の活用など、移住者が情報を手に入れにくい
- いなか暮らしが流行っているのに移住につながらない
- 自然が豊かで素晴らしいのだが、その良さを伝えきれていない
- 廃校、空き家、企業跡地を利用する

### 10年後のビジョン

薩摩川内市の自然、生活、仕事などの魅力にひかれて、  
移住する人が増加している

### ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
まちの魅力	✓ 市内の魅力に市民が気づいて、情報発信する
まつり	✓ 地域の祭りを掘り起こして情報発信する
スポーツイベント	✓ 市内の運動場・グランドゴルフ場・ゴルフ場などを活用して、広く参加できるイベントを実施する
自然	✓ 自然を活かした体験学習のできる学校をつくる ✓ 自然のなかでクライミングやキャニオニングをしたい人を誘致する
移住者誘致	✓ 他市や他県に出て行った子どもや孫たちを呼び込む ✓ 移住希望者に空き家、田畑、仕事などを紹介する ✓ ボランティア活動のお試し体験から移住へ繋げる ✓ 事業継承に困っている事業者の後継者を市外から募集し移住に繋げる

- 薩摩川内市の自然、健康、スポーツなどのまちの魅力を発信
- 若者が暮らしやすい仕事、子育て、生活面を発信
- 移住希望者へ総合的な支援を提供

アイデアの実現に向けたアクションプラン

魅惑の移住！～選べる“移住”プラン～

いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ すぐにできるWeb改修（様々な情報の連携・統合）</li> <li>✓ 1年後に移住希望者向けイベント</li> </ul>
どこで	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 甕島…釣り大会</li> <li>✓ 川内川…ボート大会</li> <li>✓ 入来…パラグライダー、クライミング等のイベント</li> </ul>
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ それぞれのコミュニティの世話人</li> <li>✓ ウェブサイト等の情報プラットフォーム</li> <li>✓ イベント参加者、その中のインフルエンサー</li> <li>✓ 外からの人（地域おこし協力隊/ファンのような人）</li> <li>✓ 地域の人材不足で困っている人、地域の企業</li> <li>✓ 行政（広報、財政など間接的支援）</li> </ul>
何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 仕事×すまい×趣味（山登り、釣り、温泉etc.）の細かい情報（住んでいる人しか知らないネタ）</li> <li>✓ イカ釣り大会やクライミング大会（有名なプロを呼ぶ）など、移住希望者向けイベント</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 最終的目標である移住に向けての足掛かり</li> <li>✓ 住民を増やすため</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ワンストップで様々な知りたい情報が分かるウェブサイト、窓口、人（情報のプラットフォーム）を設置</li> <li>✓ イベント参加者・インフルエンサーによるSNSでの発信</li> <li>✓ コミュニティごとに総合的でかつ細かい情報を提供して、ライフスタイルに合わせて比較検討できる</li> </ul>

10年後のシナリオ

**まちの自然、生活、仕事などの魅力が発信され、移住者が増加している**

キャッチフレーズ

**仕事と娯楽が充実したまち**

現状の課題

- 子供の学力向上のために塾・高校・大学等の勉強ができればよい
- 高校生になるとあまり薩摩川内市のことを学ぶ機会がない
- 学生が勉強できる場所や方法が少ない
- 市内の自然や文化に触れる機会が少なく、経験を伴う勉強ができない
- 生徒が地域について学ぶ、考えることがないので地域について知らない

**10年後のビジョン**

**若者が自分のやりたい仕事を見つけて  
薩摩川内市で暮らすことを積極的に選んでいる**

**ビジョンを実現するためのアイデア**

キーワード	アイデア
<b>商業・娯楽施設</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 映画館やお店がたくさんある</li> <li>✓ みんなで遊びに行つて楽しい複合商業施設がある</li> </ul>
<b>スポーツ関連施設、イベントの充実・誘致</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域ぐるみのスポーツイベントがある</li> <li>✓ スポーツ実業団と連携したスポーツ講座がある</li> <li>✓ 地域のイベントに高校生全体で参加する</li> </ul>
<b>多様な交流の場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高校生、大学生と地域の人との交流がある</li> <li>✓ 同じ意見を持つ人の話し合いの場がある</li> </ul>
<b>地元企業の情報・体験提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業と学生の連携が充実している</li> <li>✓ 地元企業を知る機会がある</li> <li>✓ 地域の職場体験の施設・企業がある</li> <li>✓ 社会人になって他職業を知る交流の機会がある</li> <li>✓ 高校生の職業体験の場がある</li> <li>✓ どのような職業があるか知る機会が充実している</li> <li>✓ 起業した人たちに高校の体育館に集まってもらい話を聞く場をつくる</li> <li>✓ 学校の卒業生が仕事の魅力を高校生に伝える</li> <li>✓ 地元企業が学校において職業体験をする</li> </ul>
<b>起業支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 若者を支援してくれる制度や取り組みが充実している</li> <li>✓ 勉強を地域で活かせる起業支援がある</li> </ul>
<b>単身者用の住宅</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 1人暮らしやルームシェアできるようなところがある</li> <li>✓ マンションやアパートが増えている</li> </ul>

- 高校生に対する地元企業の情報提供と職場体験
- 地域資源を活用した若者の起業支援

アイデアの実現に向けたアクションプラン

薩摩川内市の仕事や働く人を知る高校生企業訪問バスツアー

いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 夏休み</li> </ul>
どこで	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 薩摩川内市内の企業・事業所</li> </ul>
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業連携協議会が主催</li> <li>✓ 高校生の意見も聞く機会を設ける</li> </ul>
何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 対象：薩摩川内市在住または薩摩川内市にある高校に通う高校2年生</li> <li>✓ コース：業界ランダムコース、医療・福祉コース、サービス業コース、飲食業コースなどの分野別も設ける</li> <li>✓ 内容：企業を訪問して実際の仕事内容を見学する高校のOB/OGから仕事について話を聞く</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 百聞は一見にしかず</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業連携協議会が参加企業を募集する</li> <li>✓ 高校生に参加を呼び掛ける</li> </ul>

10年後のシナリオ

自身の将来を具体的に考える機会が充実し、多くの若者が市で夢に挑戦するイメージを持っている

キャッチフレーズ

**みんなが心から子育てを楽しめるまち**

現状の課題

- 働く人、働きたい人のために、保育園に入れるようにしてほしい
- ワンオペ育児にならず、周囲の人に相談しながら子育てできる環境が必要だ
- 相談できるところが見つからない
- 地域みんなで子育てできると良い
- 児童・生徒と地域の方々との交流機会が少ない
- 子育てについて、スポーツ、学習にかかる経費負担が大きい
- 小学生のスポーツや学校以外の学習塾などの活動が少ない

**10年後のビジョン**

**子育てを尊重する社会として子育ての支援が充実していて、  
子育てに夢がもてる**

**ビジョンを実現するためのアイデア**

キーワード	アイデア
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 1人で子育てに取り組み孤立している方を支える</li> <li>✓ 子どもの保育施設が充実している</li> <li>✓ 子育てに経済的、人材育成支援がある</li> <li>✓ 子育て関連の仕事をされている方がたくさん集まる</li> <li>✓ シングルマザーやファザーを支援する</li> </ul>
子育て情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 学生たちに市内の情報、出会いに関する情報が届くインターネットの仕組みが充実している</li> </ul>
多様な人が集う場	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 色々な世代の方々が集まりたくなる、交流の場がある</li> <li>✓ いろんな人、外国人、障がい者などが集まり、異文化交流ができる</li> <li>✓ いろんな人が集まれる市民子育て活動の記念イベント</li> </ul>
高齢者の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 通学路の見守りを高齢者が協力している</li> <li>✓ 元気な高齢者が働き、有償ボランティアも充実している</li> </ul>
先生や保護者の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 先生が本業の教育に集中できるような学校づくりをする</li> <li>✓ 親の負担が少なく部活動に参加できる</li> <li>✓ 部活などで優秀な外部指導者にきてもらえる</li> <li>✓ 病児保育や障がい児童を持つ保護者をサポートする</li> </ul>

- 子育て情報の発信
- 多様な世代の人が集まる交流の場
- 子育てに悩む人にセミナー・学習・支援等を提供



アイデアの実現に向けたアクションプラン

子育ての段階に合わせた支援の充実

いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2月市民フォーラム等でスタートアップセミナーを開催し、予算化でき次第、来年度から着手する</li> </ul>
どこで	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 学校、公民館などに地域のいろいろな人が集まり、気軽に行ける子育て支援センターをつくる</li> </ul>
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 元気な高齢者（民生委員、高齢者クラブ、自治会など）と、市民、PTAなどの関係者等で作るまちづくり協議会（ママサークル実践者などリーダーとなる市民）が教育委員会などと連携し</li> </ul>
何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 学校で子育て授業をする</li> <li>✓ 0～3歳児のいる子育て世帯におむつを届ける</li> <li>✓ SNSの活用、情報発信</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 10年後に薩摩川内市で子育てしたいと思う若者を増やす</li> <li>✓ 地域で子育てをする方が孤立しないようにコミュニケーションを図る</li> <li>✓ 現在ある市内の子育て支援センターの更なる充実を図る</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 学生主導でワークショップ型の子育て授業を組み立てる</li> <li>✓ 子育て家庭を個別訪問する</li> <li>✓ 定期的に検討会を開いて、沢山の人が集まるようにする</li> </ul>

10年後のシナリオ

**市の子育て支援や、親同士の交流機会がより充実し、誰もが心から子育てを楽しむことができる**

キャッチフレーズ

**安心して働き暮らしていける地域**

現状の課題

- 医療従事者が不足しているため、働きやすい環境づくりが必要である
- 専門医のいる病院が遠い
- 両親が高齢なためサポートが必要で、自身の就労が難しい
- 交通弱者の移動についてリフトバス等で解決してほしい
- 介護保険施設の入所待機者数が多い
- 介護保険事業所が少しずつ減少しており、高齢者の方への支援に影響あり

**10年後のビジョン**

**高齢者、障がい者もいきいきと働き続けながら、  
地域で支え合っている**

**ビジョンを実現するためのアイデア**

キーワード	アイデア
働く場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 重度障がい者の働く場をつくる</li> <li>✓ 障がい者の収入を全国平均にする</li> <li>✓ 高齢者が働ける場所づくり、仕組み</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高齢者や障がい者が文化的に楽しめる趣味が自由にできる</li> <li>✓ 障害を持って地域とつながっていける</li> <li>✓ 高齢、障がい者を問わず地域の中で支え合う</li> <li>✓ 高齢者の孤独をサロンで対応する</li> <li>✓ 生活困窮、引きこもりなどを支援する</li> </ul>
住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高齢者専用アパートと認知症グループホームの間のような安くて入れるマンションがあり、高齢者が助け合って暮らせる</li> <li>✓ 保育園と高齢者施設がつながる</li> </ul>
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 障がい者、高齢者の乗れる車いす対応車両を確保する</li> <li>✓ 障がい者、高齢者の移動を保障する</li> </ul>
ITの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高齢になったらタブレットで買い物ができるようにする</li> <li>✓ タブレットの使い方を教えてくれる教室を開く</li> </ul>
介護人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 介護の仕事をする人の家賃や引っ越し代を補助する</li> <li>✓ デイなど元気な人が支える立場になる</li> </ul>
医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 治療（急性期、慢性期）と共に、受け入れる体制がある</li> <li>✓ オンライン診療を受けられる方法が充実している</li> </ul>
災害時の避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 養護学校と福祉が連携している</li> <li>✓ 災害時に要介護者と介護者が一緒に避難できる避難所をつくる</li> </ul>

- 障がい者の働く場づくり
- 高齢者の働く場づくり
- 高齢者、障がい者も地域の中で支え合う仕組みづくり

アイデアの実現に向けたアクションプラン

企業で高齢者、障がい者も働き続けられるモデル事業をつくる

<p>誰が</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 協議会、社会福祉法人、NPO、企業、市役所、ハローワーク、社会福祉協議会が連携してナショナルセンターをつくる</li> </ul>
<p>何を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業から内職や仕事を集める</li> <li>✓ 就労支援サービス事業所と企業が受け入れ体制や困り事についてお互いを知る</li> </ul>
<p>なぜ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 就労継続支援B型が増えているが、一般就労に繋がっていない</li> <li>✓ 国の方針としても就労継続支援B型を少なくして、一般就労を増やしたいにしたい流れがある</li> <li>✓ 企業と就労支援サービス事業所、障がい者や高齢者を受け入れている企業とこれからチャレンジする企業のつながりをつくる</li> <li>✓ 就労継続支援B型をなくし、一般仕事として成り立たせる</li> </ul>
<p>どのように</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 協議体をつくる</li> <li>✓ 企業の困りごとのインタビューをする</li> <li>✓ 内職の仕事を集めて集団（サロン）で行う</li> <li>✓ 市内企業に1日毎の仕事へ行く</li> </ul>

10年後のシナリオ

体に不自由がある人でも安心・安全に働けるよう、相談所や支援制度が充実している

キャッチフレーズ

**農林漁業者がいきいきと働けるまち**

現状の課題

- 漁獲高が減少し、魚価も低迷しているため、事業の継続が難しい
- 後継者の確保が難しく、若い担い手候補が不足している
- 市民向けの情報発信や販売場所が少なく、市民が地元の魚類を知らない
- 農漁業に関する情報発信が少なく、農漁業に関心のある若者が少ない

**10年後のビジョン****農業や漁業に興味を持つ若者が増え、活気にあふれている****ビジョンを実現するためのアイデア**

キーワード	アイデア
新たな担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新しく始めたい人を育成する</li> <li>✓ 担い手を育成する</li> <li>✓ 働きたい人の相談窓口を設ける</li> </ul>
農漁業施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 補助金で施設や設備を整備する</li> <li>✓ 陸上養殖に取り組む</li> <li>✓ ICT、IoTを活用する</li> </ul>
まちなか直売所の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 川内文化ホール跡地に特産品等売る場所を設ける</li> <li>✓ 市内の人に旬のものを届ける</li> <li>✓ ふるさと納税の出品数を増やす</li> <li>✓ 販売のルートを変える</li> </ul>
漁業情報を市民に発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 漁業体験の機会を作る</li> <li>✓ 小さいころから漁業を知る</li> <li>✓ とれたて市場、食堂などを活用してPRする</li> <li>✓ キャラクターを活用して漁業のイメージを高める</li> <li>✓ 学生向けに漁業に関する出前講座を実施する</li> <li>✓ 漁業の映えるスポットを作る</li> <li>✓ 大学とコラボして魚のさばき方講座などをプロデュースしてもらう</li> </ul>

- 新しく始めたい人を育成
- まちなかに直売所を設置
- 農漁業を知ってもらうように発信

## アイデアの実現に向けたアクションプラン

## 薩摩川内市の農漁業について若者が知る機会を増やす

いつ	✓ 毎日
どこで	✓ 船の上で漁師がとった魚の写真を
誰が	✓ 漁師と学生バイトが協力して
何を	✓ その日にとれた魚の写真や食べ方などの情報を
なぜ	✓ 若い世代をはじめとして多くの人に知ってもらうために
どのように	✓ SNSで発信する

## 10年後のシナリオ

**まちなかの直売所で、漁師と市民が直接ふれあい、  
地元の魚を購入している**

キャッチフレーズ

## 薩摩川内流幸せ大革命！！

現状の課題

- 若者が都市部に流出して、全体的に人手不足である
- 業種や企業間で人材の需給に偏りがあり、人材育成の場も少ない
- 新規創業や起業にチャレンジすることを嫌う気風がある
- 地域の強みを生かしたビジネスが生まれにくい

### 10年後のビジョン

## まち全体を巻き込んだ働く機会の創出と人材の育成

### ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
人が集まる 仕組み	✓ 空き家や廃校活用で産業づくりや、人が集まり交流する場を作る
シニアの活躍	✓ 定年後も活躍できる仕組みをつくる
企業間の人の マッチング	✓ 企業間の人の交流をすることで人手不足を解消する
起業の支援	✓ 起業を支援して自営業の人を増やす ✓ 事業継承を助ける
娯楽施設	✓ 川内にしかないテーマパーク（わざわざ遠くからでも行くようなところ） ✓ イベントを増やす、交流できる場所

- 企業間・業種間で人材を交流して人材を活性化
- 副業や兼業など多様な働き方の支援
- 自営業やフリーランスの育成

## アイデアの実現に向けたアクションプラン

## 企業間スタッフの人材交流のしくみをつくる

いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 1年目：準備期間（企業ヒアリング、マッチング、予算措置）</li> <li>✓ 2年目：組織立ち上げ、サイト等立ち上げ、事業スタート</li> </ul>
どこで	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 薩摩川内市内全域</li> </ul>
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業：人が余っている企業、短期人材がほしい企業、社員のスキルアップをさせたい企業、役所も</li> <li>✓ 人：様々な職業で適性を考えてみたい人、働きたい人</li> <li>✓ 行政：公的な補助制度で支援</li> <li>✓ 事業主体：コーディネートを行う組織（民間、半官半民）、企業連携協議会の新事業ではどうか</li> </ul>
何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人材バンク：企業間を超えた人材コーディネート、スキルアップ、出向</li> <li>✓ 創業支援として人づくり、縦横のネットワーク</li> <li>✓ 公的な給与の補助制度</li> <li>✓ 人材の不足や余剰について企業間をマッチング</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 個人にとって、仕事についての考え方が深まる、気づき、スキルアップ</li> <li>✓ 企業にとって、企業力の強化</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人材を出向、交流して、スキルを持ち帰り自社に活かす</li> <li>✓ 公民と民間の垣根を超えた人材交流も</li> </ul>

## 10年後のシナリオ

**人材が流動的に活躍できる仕組みやサイトが整備され、企業や市民がより幸せになっている**



キャッチフレーズ

## 市内の人も市外の人も楽しめるまち ～テンションは右肩あがり～

現状の課題

- 九州新幹線や高速道路を活かしきれず通過点となっている
- 国道、県道、市道の沿道景観が悪いので草払いや花いっぱい運動をしたい
- 空き家、企業跡地、廃校などを利用できないか
- 移住・定住にさらなる補助をしてほしい

### 10年後のビジョン

市民がまちに誇りを持ち、  
薩摩川内市の観光資源を発掘・再評価している

### ビジョンを実現するためのアイデア

キーワード	アイデア
ナイトレジャー	✓ フェス、映画、ドライブインシアター、お祭り、パレードなどを開催する
小さな拠点	✓ 町のなかに小さな町をつくり、その敷地内で川内での暮らしを体験する ✓ 廃校を活用して若者の新しいチャレンジを支援する
観光情報の発信	✓ 観光マップでポイントを紹介する ✓ イベント、行事などを情報発信する ✓ 案内、掲示板を増やす
ゴルフ観光	✓ ゴルフ観光（市内2つのゴルフ場を観光利用） ✓ プロゴルフツアーの開催 ✓ 鹿児島県ジュニアゴルフ大会が毎年薩摩川内市で行われていることをもっと広めたら
若者の集まる場所	✓ 子ども、若者の集まる場所をつくる ✓ 若い人が遊べる商業施設 ✓ 子どもや学生、家族で遊べる場所を増やす ✓ 公園にボルダリングやスケートボードができる所があれば、若者が集まるのでは
市民が市内を知る観光	✓ 市民が市のことをもっと知る体験やイベントを行う ✓ コロナ禍で県外や市外に行きづらい状況を利用して、地元をあらためて知るイベントをしてはどうか ✓ コロナによってできなくなっているイベントなどを復活させていく ✓ 人と人との交流の機会の場をつくる
道の駅等の交流	✓ とれたて市場と連携して各道の駅に魚を販売してもらおう、また道の駅の野菜をとれたて市場で売ってもらおうなど、お互いが盛り上がるシステムがあれば

- 市民が市のことを知る体験やイベントの開催
- 地元の魅力を知っている人が情報を拡散する仕組みづくり
- 市民がまちのことを知るサイトときっかけづくり

## アイデアの実現に向けたアクションプラン

## 地元を知る人の知識を、情報ツール等を使って 市内外に共有・拡散できる仕組みづくり

いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 今すぐに</li> </ul>
どこで	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市の公式Line</li> <li>✓ 市の広報（紙媒体）</li> </ul>
誰が	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市、観光物産協会、商工会議所、商工会、各コミュニティなどの人の中から、影響力のある人をインフルエンサーにして</li> </ul>
何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域の魅力に関する情報や知識を</li> </ul>
なぜ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市の魅力に関する情報を集めて共有し</li> <li>✓ 事実だけでなく将来の予定も併せて</li> <li>✓ 各世代にあった形で情報提供し</li> <li>✓ 市民が市を知る機会をつくる</li> </ul>
どのように	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市の公式line</li> <li>✓ 紙と電子版を同じタイミングで発信</li> <li>✓ まちなかにQRコードを掲示</li> <li>✓ テーマを決めた魅力を発掘するツアー</li> <li>✓ 市民考案の魅力ツアー</li> <li>✓ 薩摩川内検定</li> </ul>

## 10年後のシナリオ

「まちについて知りたい人」と「まちに詳しい人」が、  
仮想空間の中で交流できる社会になっている

# まちづくり デザイン会議

---

資料編

## 資料 1. 委員名簿

	氏名	座長・副座長	推薦機関・団体等の名称
まちづくり分科会	赤崎 弘熙		薩摩川内市地区コミュニティ協議会連絡会
	玉利 あづみ		薩摩川内市女性チャレンジ委員会
	本文可		薩摩川内市女性チャレンジ委員会
	伊佐 亜希子	副座長	公益社団法人 川内青年会議所
	田中 佑樹		公益社団法人 川内青年会議所
	松元 由香		地域おこし協力隊
	田島 直美		薩摩川内市民活動ネットワーク
	坂元 真優		公募
	荒木 久美子		公募
	中俣 知大	会長/座長	公募
	前門 杏音		鹿児島県立 川内高等学校
	竹添 結奏		鹿児島県立 川内高等学校
	小村 李玖		鹿児島県立 川内商工高等学校
	豊倉 秀駿		れいめい高等学校
	馬場 遥奈		れいめい高等学校
福島 凌太		川内職業能力開発短期大学校	

	氏名	座長・副座長	推薦機関・団体等の名称
暮らし・安全分科会	荒木 貞行	座長	薩摩川内地区安全運転管理協議会 青年部
	岩城 慎二		薩摩川内市衛生自治団体連合会
	福山 征志		鹿児島県建設業協会川内支部
	中野 力丸		鹿児島県建設業協会甑島支部
	末永 利徳		一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会北薩支部
	本房 美保		一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会北薩支部
	山ノ内 達也		薩摩川内市消防団
	山下 まゆみ	副座長	薩摩川内市消防団
	木曾 宝華		鹿児島県立 川内高等学校
	平野 心胡和		鹿児島県立 川内商工高等学校
	福山 結菜		鹿児島県立 川内商工高等学校
	中村 莉子		川内医師会立 川内看護専門学校
	田畑 麻椰		川内医師会立 川内看護専門学校
	山口 華歩		鹿児島純心女子大学
若松 優芽		鹿児島純心女子大学	

	氏名	座長・副座長	推薦機関・団体等の名称
福祉・教育分科会	森園 彩	副座長	公益社団法人川内市医師会
	小原 雅彦	座長	薩摩川内市社会福祉協議会
	桑畑 明斎		薩摩川内市社会福祉協議会
	屋久 加代子		薩摩川内市民生委員児童委員協議会連合会
	内田 里子		薩摩川内市民生委員児童委員協議会連合会
	梶原 健太		薩摩川内市子ども会育成連絡協議会
	松澤 力		薩摩川内市子ども会育成連絡協議会
	手打 哲也		薩摩川内市PTA連合会
	上蘭 由美		公募
	新田 貢		公募
	柳川 すずな		鹿児島県立 川内高等学校
	小島 愛莉		鹿児島県立 川内高等学校
	木下 聖太		鹿児島県立 川薩清修館高等学校
	寛川 心結		鹿児島県立 川薩清修館高等学校
	下口 華奈		鹿児島県立 川内商工高等学校

	氏名	座長・副座長	推薦機関・団体等の名称
産業振興分科会	福重 岬		北さつま農業協同組合
	津田 伸二		川内市漁業協同組合
	石原 公郎		甕島漁業協同組合
	小竹山 正義		薩摩川内市貿易振興協会
	宮田 留美		(株)薩摩川内市観光物産協会
	窪田 昌平		川内商工会議所 青年部
	有馬 奈々		川内商工会議所 女性会
	純浦 晩成		薩摩川内市商工会 青年部
	松ヶ野 絹代		薩摩川内市商工会 女性部
	荒木 真由	副会長/座長	事業協同組合 薩摩川内市企業連携協議会
	山内 隆弘	副座長	事業協同組合 薩摩川内市企業連携協議会
	中間 龍靖		鹿児島県立 川内商工高等学校
	若松 音羽		鹿児島純心女子大学
	久保 祐成		鹿児島県立 川内高等学校
	山下 幸長		川内職業能力開発短期大学校
野間 くるみ		鹿児島純心女子大学	

## 資料2. 会議の開催概要

回	月日	場所	テーマ
第1回	7月30日（土） 13:00～15:00	国際交流センター	薩摩川内市の好きなところを語る
第2回	8月27日（土） 13:00～15:00	薩摩川内市役所	薩摩川内市の課題を知る
第3回	9月17日（土） 13:00～15:00	国際交流センター	薩摩川内市の10年後のビジョンを考える
第4回	10月16日（日） 13:00～15:00	国際交流センター	ビジョンを実現するためのアイデアを出す
第5回	11月12日（土） 13:00～15:00	薩摩川内市役所	ビジョンとアイデアを絞り込んで深める
第6回	12月3日（土） 13:00～15:00	国際交流センター	提言を作成する



薩摩川内市  
まちづくり  
デザイン会議

令和5年3月発行

【事務局】

担当：薩摩川内市

未来政策部企画政策課

住所：薩摩川内市神田町3-22

TEL：0996-23-5111

E-mail：[seisaku@city.satsumasendai.lg.jp](mailto:seisaku@city.satsumasendai.lg.jp)